

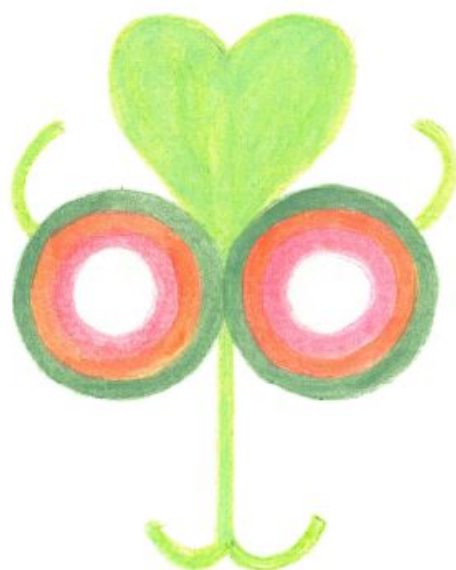
No. 1



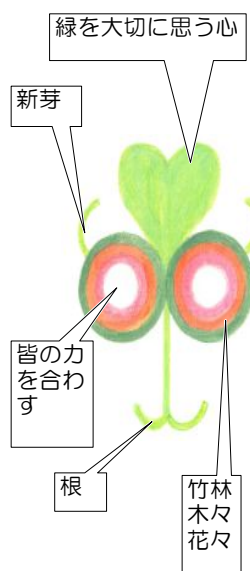
応募者 生駒市在住 50歳

作品の説明 花と緑とふれあいの心をハートの形で表現したものです。シンプルで親しみやすいデザインにしました。

No. 2



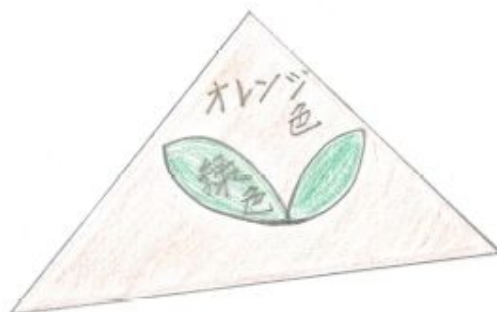
○作品の説明



応募者 生駒郡平群町在住 68歳

コメント 生駒山の緑のめぐまれている生駒市は、この緑の木々や竹林の保護に、みんなで心を一つとして守る事がこれからの市民の健康にも大変良いことだと思います。

No. 4



応募者 生駒市在住 60歳

作品の説明 オレンジ色に輝く生駒山＝温かい市民の心を表現して花一杯の色でも
又、緑の葉形は生駒市が緑豊かな清々しい市であってほしいと
思ってデザインしました。

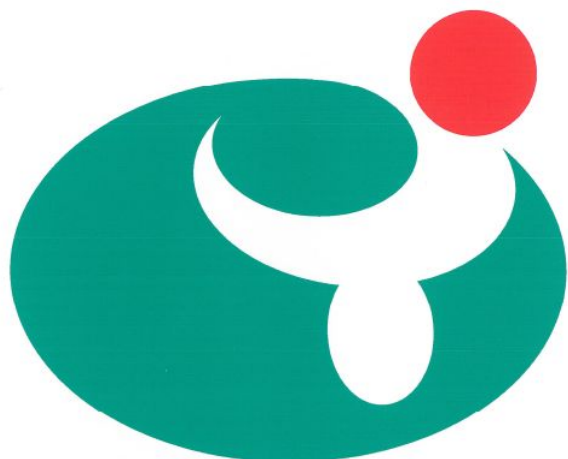
No. 6



応募者 生駒市在住 12歳(小学6年)

作品の説明 「生駒に緑！」とシンプルに書いたのがポイント！覚えやすいと思います。
“ちょうちょ”もポイント！

No. 5 - 1

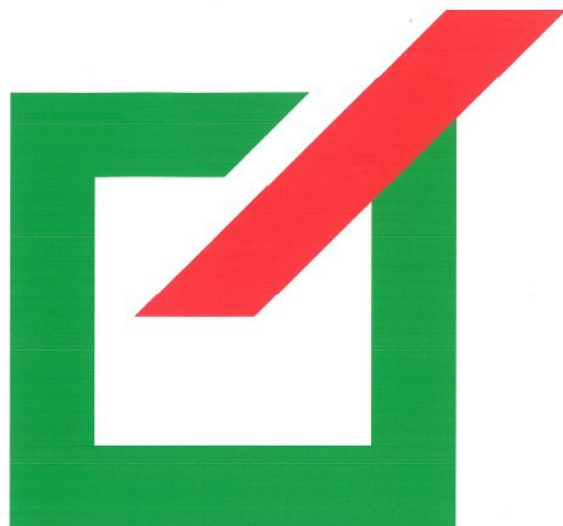


IKOMA
City Midori's fund

応募者 奈良市在住 66歳

作品の説明 イのデザイン化

No. 5 - 2



IKOMA
City Midori's fund

応募者 奈良市在住 66歳

作品の説明 イのデザイン化

No. 7



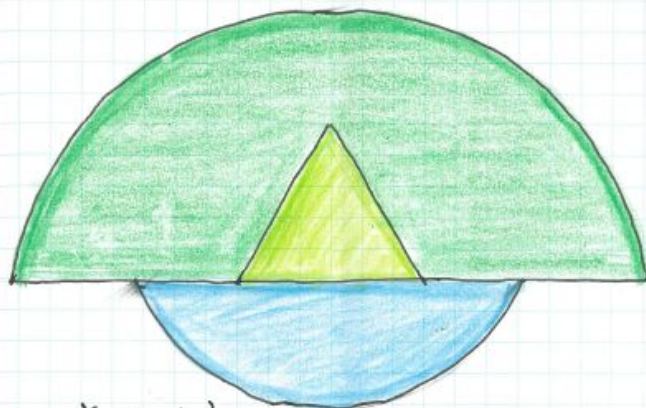
生駒市みどりの基金

応募者 東大阪市在住 72歳

作品の説明

い(生)駒市の「い」を「ハート」(緑への愛)と「若木」を組合せ、市民・事業者が愛をこめて緑を創造し、花と緑と自然の先端都市・生駒の実現をめざす「生駒市みどりの基金」の明るく元気な姿をデザイン。緑は、自然あふれるまちづくりと緑化の人・もの・情報の発信を、赤は基金に燦然と輝く希望の太陽とみなぎる活力を、青は緑化の明日拓く創造性と緑のまちづくりへの支援を表現し、これは21世紀をリードする「生駒市みどりの基金」が力強く飛翔発展する勇姿を象徴したものである。

No. 8



育てよう
「みどりの市民、みどりの生駒」

応募者 生駒市在住 64歳

作品の説明

「生駒山とくろんど池に代表される生駒の自然に(緑と水)、しっかりと根をはる大樹の育みを市民が支え、愛する」姿を表象するシンボルマーク

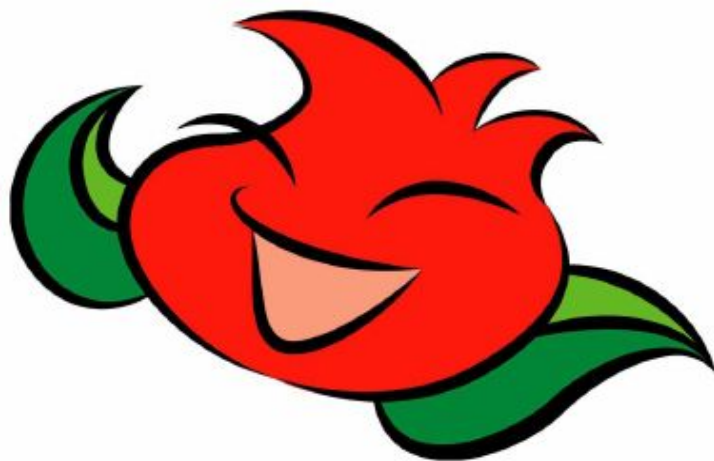
No. 9



応募者 神戸市在住 58歳

作品の説明 緑が増え、花が咲き、人々の笑顔が「咲く」のをイメージしてデザイン。
シンプルで親しみやすく、「生駒市みどりの基金」活動を強くアピールするマークです。

No. 10



応募者 奈良市在住 56歳

作品の説明 花畑の中で明るく笑顔を絶やさず踊っている花をイメージしました
モチーフは誰でも一目で花の名前がわかるチューリップです